

平成26年度研修報告

研究主題＊自分の思いや考えを豊かに表現できる子どもの育成＊

～国語科における言語活動の充実を通して～

研究内容

- 1 【言語の耕し】 ・読書（朝の読書・並行読書） ・話す・聞く（スピーチ、相手意識・目的意識をもって）
 - ・書くこと（時間内に制限された字数で書くこと）
 - ・語彙を増やす（国語辞典の活用、正確な漢字の習得）
- 2 【言語活動の充実】 ・単元を貫く言語活動を位置づけた国語の授業（単元で身につけたい力を見極め児童の学習意欲を高める授業改善）
- 3 【活用力の育成】 ・読解力（目的に応じ、叙述に即して確かに読む）
 - ・記述力（書くことをいとわない子の育成、自分の考えを表出させる）
 - ・活用力（学習の成果の可視化、積み上げ、お宝帳）

4 研修計画

月	日	内容
4	16	研究テーマ、研究方針・組織について 国語の学習の進め方（国語授業改善アドバイザー）
5	27	授業研究会 今年度の研修の方向性 講師：文科省 調査官をお招きして
6	3	各学年の研究内容について
7	23	1学期の研修のまとめ 全国学力学習状況調査の解説（国語授業改善アドバイザー） Q-Uの分析、活用について
7	28	指導案検討（9月提案授業に向けて） 高学年部会 国頭教育事務所主事招聘 提案6年

7	30	指導案検討（9月提案授業に向けて） 低学年部会 国頭教育事務所主事招聘 提案1年
7	31	指導案検討（9月提案授業に向けて） 中学年部会 国頭教育事務所主事招聘 提案3年
8	26	夏季研修会報告 2学期の学級開きに向けて 2学期の校内研修について
8	28	指導案検討 低・中・高学年部会
9	10	授業研究会に向けて最終検討会
9	18	国頭地区授業改善研 講師：文科省 調査官
10	8	授業作り 低・中・高学年部会
10	16	名護市教育委員会 学校訪問 授業学年：1年算数 5年国語 6年特活
11	18	講話：授業作り 講師： 村瀬名護市学校教育特認アドバイザー
		NIE実技研修
12	17	研修の振り返り
1	21	今年度のまとめ 次年度に向けて
2	10	次年度の研究方針

第1回 授業研究会 平成26年 5月27日3年1組 元名 思いを想像して読む「お話くるりんカード」で友だちと感想を伝え合おう

「さおりの気持ちがくるりんしたのはいつでしょうね」「さおりはゆきひろのことが好きだってきづいたんじゃない？」

授業者と共にみんなで授業を振り返り学力調査官・教育課程調査官の講話を聞き学習しました。

夏休みの研修開始

平成26年 7月23日(水) 全国学力学習状況調査の分析と、それをどのように授業の中で子供たちに活用できる力として身につけさせていくかを、国語の授業改善アドバイザーである先生に講話していただきました。

全国学力学習状況調査の問題を解く力は、指導事項を明確にし「単元を貫く言語活動」を充実した授業をしていけば、必ず身につけていくと実感しました。

平成26年 7月28日・30日・31日

低・中・高学年部会で授業の展開を考える学習会をしました。

低学年部会	中学年部会	高学年部会
1年生教材	3年生教材	6年生教材
説明文 だれがたべたのでしょうか	説明文 くらしと絵文字	物語文 川とノリオ

*先生から教えていただいた「授業作りの5つのポイント」を大切に授業構想をたてていきます。

- 1 単元を貫く言語活動を位置づける
- 2 学習の見通し(だんどり力)
- 3 モデルや手引きの提示(教師が提示する グッドモデル、バッドモデル)
- 4 交流の位置づけ(吟味、検討)
- 5 学習のふりかえり(メタ認知)

【今年度の成果】

○授業改善の意識がついた。・「単元を貫く言語活動」を意識し、指導事項を明確にしながら取り組むことができる教師が増えた。・その単元を終えるとき児童がどのような力を身につけているかイメージし、学習進行表を作成し、授業を構成できるようになった。

○沖縄県学力到達度調査の結果・国語の正答率が64.2%で、県との比較で6.1上回った。・接問
いによっては40.8上回った。これまでの授業改善を中心とした研究の成果であると考えられる。

○ライティングタイムの活用・朝の活動（週持程15分）の中に書く時間の確保をし、短い時間の活動
を積み重ねてきたことで、字数や時間を決めて書くことに慣れ、書くことをいとわない児童が増えてき
た。課題

○指導事項をしっかりと見極めて児童の学習意欲を喚起する言語活動の設定。

○全ての教師が研修で学んだことを共通実践していくこと。

○漢字の習得に関すること。○条件に合わせて書くこと。

○「つけたい力」と対応した学習のふりかえりをする事。